



多文化共生の活動の輪を 広げよう

2026年
2月14日
(土) 15:40~17:15

オンライン60名
& 対面30名@JICA横浜

～活動する人・応援する人の想いをつなぐダイアログ3～

神奈川県内にはさまざまな市民活動が行われており、それを下支えする助成制度にも多様なものがあります。また一方で、外国にルーツを持つ人たちや海外からの留学生・社会人のさらなる増加に伴い、多文化共生の活動も今後、他分野との連携協力も一層、求められていくことになるでしょう。

そこで、これまでのフォーラムの流れを引き継ぐかたちで、助成金や多様なリソースを活用している団体、助成制度を設置している組織、そして関心のある県民のみなさんが一堂に会して、地域の多文化共生を育む活動の可能性について対話する場を設けます。

また今回のフォーラムは、「SDGs CITYフォーラム」連動企画として実施します。詳しくは裏面をご参照ください。

多文化共生の活動団体からの報告

NPO法人Sharing Caring Culture (SCC)

<https://sharingcaringculture.org/>

NPO法人霧が丘ぶらっとほーむ

<https://www.kirigaokaplatform.com/>



助成制度担当者からコメント

認定NPO法人 神奈川子ども未来ファンド
公益財団法人 かながわ生き生き市民基金

👓 お申込みにあたって、ご確認ください

✓ ハイブリッド形式（会場&オンライン）にて開催します

お申込み時に会場／オンラインのどちらを希望するかお選びください。

【会場】JICA横浜 4 階会議室「かもめ」（横浜市中区新港2-3-1）

【オンライン】Zoomのウェビナー形式（参加者のみなさんの顔は画面には映りません）

✓ このフォーラムは「SDGs CITYフォーラム」連動企画です

同じ日に開催する「SDGs CITYフォーラム」では、さまざまな国際理解・国際協力に携わる団体が参加し、活動を紹介する予定です。プログラムが確定したら以下のサイトに掲載されます。どうぞ、ご参加ください。

https://sdgs-yokohama-city.org/sdgs_tabunka_city_forum_2026/

プログラム

15:40	開会	
15:45～	趣旨説明	モデレーター藤枝香織さん（一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ副理事長）
15:55～	活動事例報告	
①15:55～		団体からの報告①：Sharing Caring Culture（SCC）（20分）
②16:15～		団体からの報告②：霧が丘ぶらっとほーむ（20分）
③16:35～		コメント（各助成制度担当者から） ・（特非）神奈川子ども未来ファンド／（公財）かながわ生き生き市民基金
16:55～	質疑応答	
17:15	終了	

活動団体インタビュー紹介

今回活動報告をしていただく2団体には、以前、財団のかながわ国際協力基金で助成しておりインタビューもしています。下段からスキャンして読み取っていただくか、あるいはウェブで【かながわ国際 助成団体インタビュー】と検索して、ご覧ください。

◆NPO法人Sharing Caring Culture（2022年1月インタビュー）
「外国人自らが地域に参画して、役割を感じられる場所づくりを」

◆NPO法人霧が丘ぶらっとほーむ（2023年2月インタビュー）
「インドの人たちと互いに分かり合い、そして助け合うために」



多文化共生フォーラムHP



お申込みはこちら↓



◆メールでの申込みは、以下の項目をお知らせください。

【タイトル】
多文化共生フォーラム申込み

【送付先】
tabunkares-2025@kifjp.org

- ・氏名（ふりがな）
- ・電話番号
- ・メールアドレス
- ・お住まい（市区町村名のみ）
- ・ご所属（任意）